

# 総合展示室

## 「自然と人間」見どころ解説会

### —現代展示の意義と課題—

4月20日（日）13:30～15:00

会場：県立博物館 講堂

定員：200名（先着順、申込不要）

登壇者：

筑波匡介（災害分野学芸員）

栗原祐斗（歴史分野学芸員）

山口 拓（民俗分野学芸員）

福島県にとっての  
「現代」ってなんだろう？

「現代」を展示する  
ってどういうことだろう？

探しても  
探しても...  
資料がない！

県立博物館では、常設展総合展示室「自然と人間」の展示内容を更新し、令和7年4月1日から公開しています。戦後までをご紹介している「近現代」の展示を引き継ぎ、高度経済成長の時代を経た昭和から平成までの博物館資料を展示するスペースへと変わりました。

とくに、東日本大震災後に博物館が収集してきた「震災遺産」が常設展示されるようになったのが大きなポイントです。

この解説会ではそれぞれの資料についての説明はもちろん、展示にまつわるウラ話や苦労話も交えて「現代を展示すること」についてお話いたします。

